

講師のご紹介

●●● 松下電器、JT等多くの大手企業で設計開発部門の改善を支援 ●●●

【セミナー講師】



大坪 秀昭氏

株式会社ナレッジワークマネジメント 代表取締役

1960年香川県生まれ。日本ヒューレット・パカード、日本総合研究所などでマネジメント業務の傍ら、製造業の業務改善コンサルタントとして従事。

従来のコンサル企業のあり方に疑問を抱き、日本の製造業の活性化を支援するためには、もっと身近な価格で同等の成果を得られるコンサルサービスがあるべきだと考え、2006年4月にナレッジワークマネジメントを設立。

《講師執筆記事ご紹介》

「製造業再生 商品作りの仕組み再構築」（日本工業新聞社「日本工業新聞」2003年1月6日掲載）

「知的活用ー成功のひけつ」（日経BP社「日経デジタル・エンジニアリング」2003年5月号～8月号連載）

「実務で使える！設計ノウハウ・ナレッジの管理法」（日刊工業新聞社「機械設計」2004年12月号掲載）

「QFD（品質機能展開法）による顧客要求を活かす製品開発法およびナレッジマネジメントの概要」（社団法人日本経営工学会「経営システム」2005年7月号掲載）

など

《導入事例》

多数の製造業（電機、一般機械、食品機械、自動車部品、搬送機、精密機器など）で、「設計ノウハウ活用によるコスト削減や設計品質の向上」、「顧客志向型の新製品開発」、「HP社流のマネジメント手法による若手技術者の育成」に取り組み、実績をあげる。やり方や答えを教えるのではなく引き出す手法で、支援を受けたお客様に「改善の文化」を定着化。

《セミナーのポイント》

厳しい納期と仕様要求に対応しながら、製品や設計品質の向上、根本的なコストダウンを図らなければならない…。そのような設計開発部門が抱えている課題を解決するためには、仕様・構想検討のやり方と若手・中堅技術者の育成方法を改善しなければならないと考えています。

今回のセミナーでは、これまでに様々な業界で効果を上げてきた設計上流工程を改善する実践的な解決策（VE手法を応用した改善手法）に、3DCADをプラス。仕様構想検討時のより深い検討と若手技術者の育成が図れる新しいやり方と道具についてお伝えします。